

# 玉縄城まちだより

発行者:玉縄城址まちづくり会議 荒井 章 ☎ 0467-45-7411 〒247-0073 鎌倉市植木 425-16

E-mail artbank21@nifty.com URL <http://tamanawajo.sakura.ne.jp/>

玉縄城址まちづくり会議は これまでに

何を進めてきたか 〈第十二回定時総会から〉

## ◆里山事業がやってきたこと

- ・七曲坂アダプト、市民緑地奉仕を続けた
- ・七曲坂冠木門を市民と協力して制作した
- ・史跡太鼓櫓を市民緑地として復活させた
- ・あらたな市民緑地誕生のために活動した
- ・藪に埋まっていた焰硝蔵を保全再現した
- ・玉縄城址を縄張りして総合調査を行った
- ・三角平場を復活させ矢射ち場をみつけた
- ・藪の中の史跡、蹴鞠場を保全再現させた
- ・藪の中から、月見堂下曲輪を復活させた
- ・玉縄城総構え遺構を踏査し検証してきた
- ・玉縄城FDミュージアムを普及啓発した
- ・遺構探索会で玉縄城の魅力を伝えてきた
- ・史跡緑地を活用し自然観察会を実施した
- ・植木2号緑地を美竹林にする保全をした
- ・城址を偲ぶコースに案内看板を設置した
- ・七曲殿洞窟に対する史跡調査をはじめた

## ◆文化事業がやってきたこと

- ・玉縄城築城500年祭を市民と協働した
- ・民俗資料館をリニューアル開場した
- ・重文古民家を守って活用してきた
- ・小学生昔の暮し体験学習を創設した
- ・六千人が「見て触ってやって」みた
- ・育成講座で市民学芸員を送り出した
- ・その市民学芸員が次世代を指導した
- ・玉縄城主墓前祭を創設し恒例化した
- ・鎌倉代表で北条五代祭りに参加した
- ・アカデミア歴史セミナー30回進めた
- ・鎌倉市との協働事業を企画推進した
- ・文化庁補助事業を提案し、推進した
- ・歴史ミュージアム事業を、構築した
- ・城主の館の存在を陣屋坂に確認した
- ・もう一つの鎌倉の拠点化をめざした
- ・龍寶寺城、城下町の存在を検証した

## ◆評価されたこと

- ・文化庁の補助が、文化事業についての
- ・民間財団の助成が、里山事業についての
- ・鎌倉市政功労賞「団体表彰」を受けた
- ・国交省「みどりの愛護」表彰を受ける
- ・鶴岡八幡宮には活動にご協力を頂いた

## ◆平成30年度から進めたいこと

- ・鎌倉・玉縄城址歴史ミュージアム、フィールドミュージアムの普及活用を目標に、本部、文化、里山、各事業を推進します。文化里山事業は3、4面に、ここでは5つの本部事業を紹介します。

- ・大船駅から玉縄城址へ「歴史トレイル」の計画を進めます。これは市の歴史まちづくりの構想と連動させます。日比谷花壇大船フラワーセンターと連携し、城址案内看板を入口に設置します。またイラストマップを作り市民に提供します。
- ・玉縄城址「史跡指定」のため文化財部の条件整備作業に積極的に協力します。
- ・北条早雲（伊勢宗瑞）500年記念展示を平成31年に鎌倉市と協力し鎌倉歴史文化交流館、鎌倉国宝館で実施する予定です。文化財部との合意を得ています。

- ・「見る、触る、やってみる」小学生体験学習の経験を活かし、環境体験学習を保全した遺構緑地を活用して実施します。
- ・玉縄城址保全のボランティア活動への参加を、学生と企業に呼びかけます。

会長 荒井 章



焰硝蔵の階段づくり、先輩の指導

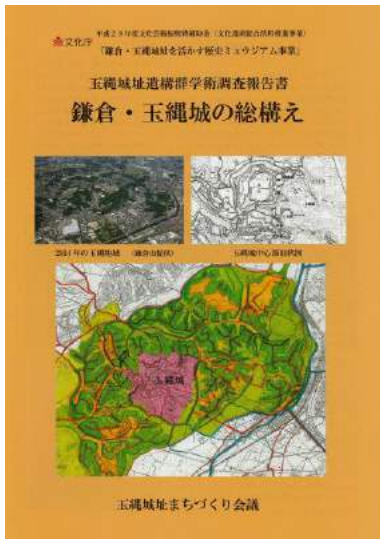


市民緑地の契約更新を喜ぶ



熱が入る古民家の小学生体験学習

＜平成 29 年度文化事業報告＞



報告冊子 鎌倉・玉縄城の総構え



玉縄城東側の旧地形図(明治15年)



シンポジウム【鎌倉玉縄城の総構え】  
玉縄城の全貌が明かされた

◆シンポジウム 10月21日  
〈鎌倉・玉縄城の総構え〉  
この研究では、城址東側北側の遺構群学術調査で顕著な成果があった。調査を行った玉林美男、大竹正芳両氏の報告から注目されたのは、技巧を凝らした本丸と自然地形を活かした山陵部と谷戸の城郭遺構群。西の大手と東の大手の役割。谷戸ごとの家臣の館。道と水路、職人と町衆の城下町としての植木新宿のこと。二人の報告を柱に、伊藤一美が鎌倉武家文化と玉縄北条氏の関係に鋭く迫った。

城東では、謎が深まってきた網成に関わる山居の香花院地区遺構群の調査が報告された。広大な玉縄城域を新たに位置づける学術調査〈鎌倉・玉縄城の総構え〉は、報告書として刊行し、教育機関、市民に配布された。

◆龍寶寺城 岡本砦とは？  
玉林美男、大竹正芳が三回にわたり踏査し「龍寶寺城図」を描き、玉林美男が古地図と水路図を基に戸部宿と川湊、それを東と南から守る岡本砦の存在を明言した。これにより玉縄城の中期から一五九〇年の開城までの玉縄城の全貌が検討され、それが「鎌倉・玉縄城の総構え」として示された。

網成が氏繁に家督を譲ってからの隠居所だと伝わる香花院、その場所は龍寶寺城か？また玉縄城東側の調査では、両側に側溝をもち鍛冶師、番匠、薬師、商家で賑わった植木新宿の存在が浮上。戸部宿から伸びる駿の先には木戸が設けられ、東の守りと商工業が栄えた場所になった。小田原合戦には、大筒を本城に収めた文献が伊藤一美により示された。

◆市民学芸員の活躍  
玉縄ふるさと館を舞台に《市民学芸員育成講座》では、七月から10名の市民を迎え、当会の学芸員と共に民具の洗浄と補修、資料カードづくり、石器を暮しの道具として使う体験をした。出土品を洗浄し時代別の説明書をつくり、訪れる市民に好評だった。

十二月から二月は恒例の小学生社会科体験学習「昔の暮らし調べ」。十五校、千二百五十人の三年生は60年前頃の衣食住の道具に触って学び、古民家では昔の家と暮らしを五感で体験した。学芸員と市民学芸員が21日間延べ170人に対応した。(荒井幸子)



戦国時代の英雄の話  
を聞く子どもたち



◆探策会 11月18日  
〈岡本砦と龍寶寺城〉  
小雨の中険しい旧岡本道を登ると大仏切通とそっくりの切通が出現



重文古民家で三人三様の演奏。  
市民60人、スタッフも楽しんだ



◆チャリティー演奏会 9月24日

平成30年度文化芸術振興費補助金、鎌倉武家文化普及啓発

鎌倉・玉縄城址を活かす歴史ミュージアム事業



<平成30年度文化事業計画>



北條氏綱奉納太刀 三口



阿部 能久



伊藤 一美



大竹 正芳



宇都 洋平



玉林 美男



赤羽根 大介



伊東 潤



諏訪 順

◆文化庁補助事業の計画

鎌倉武家文化の普及啓発、そのための玉縄城址歴史ミュージアムの普及啓発は、市民、鎌倉市、神奈川県、文化庁共有の事業コンセプトになりました。今回の三回連続セミナーでは、中世戦国期の鎌倉を総攬し、その中の玉縄北条氏を深く検証し、再発見を行います。

《連続歴史セミナー》



戦国時代の鎌倉、その検証と発見

◆第一回《戦国時代鎌倉の歴史と文化》5月31日(木) 13時半から 会場 さらら鎌倉 4階第六集会室

【講座の意義】

鎌倉市文化財部榊渕則彰部長から、戦国鎌倉そして玉縄城、その史跡指定のこと、研究の活用等について語って頂きます。

【戦国時代の鎌倉の歴史】

阿部能久講師は、鎌倉国宝館で中世史を担当。戦国期終焉迄の鎌倉研究を發表し、資料に鶴岡八幡宮の協力で北條氏綱奉納太刀写真を活用します。

【武家の文化活動と町衆】

伊藤一美講師は、戦国期鎌倉の文化的背景、民衆の動き、玉縄城主と鎌倉の人々の生きざまを報告します。

【鼎談】玉林美男氏加え検討会

◆第二回《玉縄城址発掘調査報告》6月21日(木) 13時半から 会場 さらら玉縄 第一集会室

【玉縄城址遺構群】

大竹正芳講師は、藝大出身の日本画家。ライフワークの城郭史学会に「相州玉縄城実測報告」を提出されました。

【戦国の藤沢と玉縄城】

宇都洋平講師は藤沢市の学芸員、藤沢地域の玉縄城関連発掘調査を数多く担当、共同研究に期待をかけています。

【戦国時代の寺社の記録】

玉林美男講師は鶴岡八幡宮、荏柄天神、大功寺石碑から戦国期検証。最後に伊藤一美氏も加わり、鎌倉の都市計画を考察します。

\* 第一回第二回 募集は各三十名

\* 参加費各千二百円 往復はがきでまちづくり会議事務局へ

◆第三回《戦国時代の鎌倉、その検証と発見》9月15日(土)

会場 さらら鎌倉ホール 13時開場

【古武道演武】赤羽根大介

【宗瑞と小田原北条氏】

特別講演 歴史小説家 伊東潤

【小田原北条氏と小田原城】

【シンポジウム】司会 伊藤一美

伊東潤 諏訪問順 玉林美男 大竹正芳

入場料：千五百円 先着二百名 申込み：まちづくり会議事務局へ

◆《玉縄城址遺構探索会》

6月21日(木) 9時半清泉女学院正門前集合。蹴鞠場、諏訪壇、大手門址、太鼓櫓、焰硝蔵、龍寶寺で昼食 ◆《玉縄城遺構群のパネル展の開催》10月〜2月迄 玉縄歴史民俗資料館入館料：百円 さらら玉縄資料コーナーに展示

◆《市民学芸員育成の実践的講座》

「ふれようなおそう 地域の文化財」 資料館展示の工夫、民具の補修、発声と案内ガイド実習等を講師と一緒に体感し市民学芸員をめざします。 玉縄ふるさと館の小学生社会科体験学習「昔の暮らし調べ」の道具の説明も行います。この体験学習ボランティアをお願ひします。

5月29日(火)から8月28日(火)まで全八回。参加料千円(受講回数に關係なく) 詳細は、各学習センターでチラシをご覧ください。

《お知らせ》

恒例の小学生社会科体験学習を今年度も行います。玉縄ふるさと館で60年前の暮らしの道具と今の道具を比べましょう。350年前の古民家で昔の人の暮らしの知恵を学びましょう。 戦国時代の鎌倉に誰がいたの？謙信、秀吉家康もやって来た「鎌倉の歴史」、それを一緒に学びませんか。

◆里山保全事業の報告

◇昨秋開催された「第二回まちの美化推進シンポジウム」において、当月例の「七曲坂」の清掃活動の発表とパネルディスカッションが行われました。

◇当会のもう一つの月例奉仕場所である「市民緑地」が、地権者のご厚意により十二倍に拡大されました。大部分は急な山林ですが、七曲坂のシンボル一本杉は、市民緑地の一本杉になりました。

◇「焰硝蔵」の保全、美しい竹林とともに、安全な空間を目指して、倒れる心配のある大木の伐採や、入口階段の大幅な補修を行いました。

◇「月見堂下曲輪」は笹や灌木の刈払いが行われた結果、変化に富んだ地形の全体が見えてきました。今後探索会のコースにも加えられる見込みです。



実生から育てた紅葉の植付け



焰硝蔵の保全で堀切りもくっきり



市民緑地のひと仕事終えて

◆イオン環境財団助成事業の予定

当会は同財団の助成を四年連続で受け、これから本年度の事業に取り掛かります。事業の柱は次の二つです。

① 諏訪壇、蹴鞠場、月見堂下曲輪、市民緑地、焰硝蔵、七曲坂の補全

ユキモチソウ、ハンショウヅル、キンラン、ギンランなどの貴重な植物が見られる遺構緑地が、人々に安らぎを与える場所となるように、多様な植物の保存を図りながら整備します。

② 「子ども城址遺構探検隊」の募集と実施

中長期的な緑地保全・参加者の確保も視野に入れ、一定の保全が進んだ遺構緑地を子どもたち（及び保護者）が見学・体験する場を設けます。ここでは、子どもたちが史跡を身近に感じられるように蹴鞠場での蹴鞠体験、太鼓櫓市民緑地での太鼓打ち等を行うことも考えています。(松田明)

◆第54回 小田原北條五代祭り

5月3日鎌倉市代表の玉縄城主北條氏時隊としてパレード。小田原城名物市では鎌倉市の広報も行い、甲冑姿の似顔絵も提供。ぜひ応援に来てください。



◆第六回 玉縄城主墓前祭十月二十日

法要会 龍寶寺本堂 九時半  
導師は梅田良光住職(招待者のみ)  
歴史講話と奉納古武道演武 十時半  
龍寶寺本堂前広場(参加自由)



【七曲坂の野草】⑬クサイチゴ

バラ科キイチゴ属の小低木。4月が花の時期で、5弁の白い花を咲かせ、5月末頃にルビーのような赤い実をつける。小鳥が好んでたちまち食べられてしまう。ジャムにしたいが小鳥との競争だ。七曲坂の土手に沢山見られる(増川勇次郎)



◆七曲坂からお願い

オレンジのジャンパーが目印です。市民緑地は第3土曜日9時、七曲坂は第4土曜日9時から、美化奉仕をやっています。いつも一声かけて頂き有難うございます。

よければあなたも参加しませんか。  
\*お問い合わせ先は一面に(松田明)